

アフガニスタンに命の水をー民生支援こそ日本の国際貢献ー

福本満治氏（ペシヤワール会事務局長）

ペシヤワール会は1983年9月中村哲医師のパキスタンでの医療活動を支援する目的で結成された国際NGO（NPO）団体です。1986年よりパキスタン国内のアフガン難民への診療を本格的に開始し、アフガニスタン国内にも活動範囲を広げ、1991年、その拠点診療所を開設し、北東部の3診療所を中心に、山岳無医村での医療活動を始めました。1998年には恒久的な基地病院としてPMS（ペシヤワール会医療サービス）病院をペシヤワールに建設しました。

医療活動の一方で、2000年、大旱魃に見舞われたアフガニスタンの村々で水源確保事業を開始し、これまでに飲料用井戸約1600本と直径約5mの灌

軍事研究に対する 東北大学の対応

政府は昨年度から

「安全保障技術研究推進制度」の下で公募を始めた。東北大学では一定の場合に研究費の公募に応じて良いとする「考え方」にもとづき公募を周知し、またその「考え方」改定案について意見募集をした。「考え方」とその改定案には組合をふくめ多くの批判的意見が出た。その後に来た公募について大学は、その公募内容から本学研究者の応募を認めないこととした。また、今年度の公募についても昨年度の公募内容とほとんど変わらないため、本学研究者が研究実施者として応募することは認めないこととした。今後はプロジェクト・チーム及びワーキンググループで検討を行うが、当分の間は研究推進本部運営委員会において審議することとしている。

「二度と軍事研究を行わない」との学会決議宣言を守るため、政府や本学の動きを注視していきましよう。

安保法制は廃止！

日本が戦争に巻き込まれる危険のある安保法制は廃止にしようという運動が広がっています。メーデーはもちろんのこと、5月28日の安保法制廃止みやぎ県民大集会や毎月19日の行動等で市民の意思を示してきました。

廃止させるまで運動を強めていきましょう。



5.1メーデー集会

「新刊案内」

『戦争放棄の根本思想は何か』（増補版）

宮城・研究者「九条の会」編

本書の元は、二〇〇五年に行われた宮城・研究者「九条の会」発足集会記録で、二〇〇七年に「みやぎ憲法ブックレットNo.3」として刊行されました。このたび本会発足十周年を記念して、増補したうえで「みやぎ憲法ブックレットNo.8」として、本年二月に刊行されました。

本書の中心である広中俊雄氏（民法・法社会学、東北大学名誉教授、故人）「戦争放棄の思想ー憲法九条を考える視点ー」には変更を加えてありませんが、

増補を行った理由は、昨年九月十九日に立憲主義を踏みにじって乱暴に「成立」した「戦争法」を批判し、廃止するための運動の一助になりたいとの強い意欲です。

そのため、①小田中聡樹氏（刑事訴訟法、東北大学名誉教授）「『戦争法』の本質と人民の闘い、そして希

そこで強調される「人間の尊厳」という視点から憲法九条をみることは、いまでもこまます重要となつていきます。

一冊税込み五百円です。職員組合書記局においてありますので、ぜひともご購入ください。

（元組合員・吉田正志さん）

